

# ステップ!!!

福山市立東朋中学校  
第2学年 学年通信

2021年(令和3年)

5月28日(金)

**『情報(通信などの配付物)ちゃんと届いていますか?』**

**『必要なことを親子で会話できてますか?!』**

○5月21日(金) Chromebook を初めて持ち帰りました。充電の必要性と家庭に持ち帰るため、「家庭での使い方について、親子で話しあって下さい。」という課題を出しました。

このことについての配付物・パスワードなどの個人情報、届いているでしょうか?まだ、授業などで、使っているだけで、課題などは出していません。持ち帰ったとき、長時間にわたって使用し、親子でトラブルになっている場合もあります。Chromebook は、学習に使うため、保護者が福山市教育委員会から借用しています。従って、家に持ち帰ったとき、生活リズムが壊れるような使い方が起こらないよう、しっかり話をして、家庭でのルールは決められたでしょうか?中には、持ち帰っただけで、充電せずにそのまま持ってきた生徒もいました。また、壁紙を変えたり、学習のための検索をしてもいいということでしたが、常識の範囲内での使用はできたでしょうか?(裏面の記事をお読み下さい。)また、Chromebook は学習道具として、借用されています。授業中関係ないことをしたり、学習に関係ないことをした場合、指導注意と同時に家庭連絡をさせていただきますのでご協力お願いします。

○チャレンジウィーク(職場体験)に向け『働くこと』について家族に話を聞こうと言う課題を出しています。保護者の方の仕事内容ではなく、働く上でどんなことを考えないといけないか、職場体験に行くには、今の状態で何が足りないかなど、大人として伝えておいた方がいいことなど話していただけたらと思います。

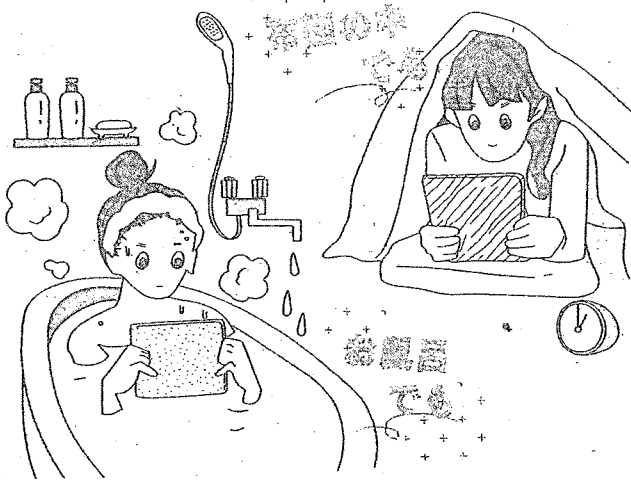
○3年生は夏のオープンスクールに向けて具体的な話が始まっています。最近、2年生からも「どんな高校があるか知らないんです。」「どうやって、高校を決めたらいいかわからないです。」「もう、〇〇高校に行くって決めてます!(本当によくわかっていますか?!)」などの声を聞きます。26日に進路についての基本的な情報をプリントを配布し、説明しました。プリントを持ち帰り、家族に見せるように話しました。昨年から Web 登録が導入され、願書提出の手続きの切日が早くなりました。さらに、本人・保護者で手続きをした後、中学校へ提出し、高校へ出願という流れになっています。自分の進路なので、生徒が理解できていればいいことですが、「プリントを見ながら、親子で話してみましよう!」といいました。配付したプリントは届いたでしょうか?

今、チャレンジウィークの取り組みを進めながら、やっていることは、『進路決定』にむけ、必要なことばかりです。「遅刻」「学習道具の準備」「時間(提出日)を守る」「その時すべきことをする。」など、あたりまえのことがあたりまえにできない人が気になり始めました。そろそろ進路について真剣に考え始める時期に来ました。しっかり親子で話してみてください。

# オンライン生活

## 動画配信の「沼」

好きな時に好きなだけ作品を楽しめる動画配信サービス。便利さの一方で、動画への「依存」という新たなリスクも生まれている。コロナ禍で、おうち時間が長くなった子どもたちにも影響が出ているようだ。  
(梁晴雨)



グラフィック・末永明子

■広島市の看護師女性(49)  
動画配信サービスでアニメを長時間見続ける小学6年の娘(11)が心配。

# 子が依存画面にくぎ付け

娘の視力はついに0.1を切った。この1年で急激に悪くなり、眼鏡を新調した。「アニメ漬け」が、新型コロナウイルスの感染拡大による昨年春の一斉休校をきっかけに続いているからだ。「完全に依存症です」と女性は大げさな息をつく。

契約する動画配信サービスのトップページには、聞いたことのない題名がずらりと並ぶ。娘のお気に入りの漫画が原作の「呪術廻戦」。ポスト「鬼滅の刃」と言われる人気作で、戦闘シーンが迫力満点とか。「Re・ゼロから始める異世界生活」は、主人公が死ぬたびに過去へ戻る「死に戻り」という能力で人生をやり直す筋書きだ。

衝撃的なシーンもあるし、小学生が見るには複雑な話だと、母親目線では思う。「何が面白いの?」と聞くと「展開が読めないところとか、世界観とか」。ちよつと面倒くさそうに返事される。

自分たちの頃とは随分違う。当時よく見た「ドラえもん」や「キヤンディ・キャンディ」は単純明快なストーリー。続きは次週まで待つしかなかったが、娘は見たい時に動画配信サイトで「一気見」する。「我慢が要らないから、欲

望に勝てない人間に成長するんじゃないかって」。そんな不安もよぎる。

実際、休校中は生活リズムが乱れた。夜更かしをするから、朝起きられない。布団を無理やり引き剥がして起こすと不機嫌になる。風呂やトイレにもタブレット端末を持ち込む。夜中に布団をかぶって、こっそり見る姿にはぎょつとした。

学校が再開してからも変わらないう。帰宅後はランドセルも下ろさず、タブレットの元へ一目散。おやつを食べる時も背中を丸めて、目は画面にくぎ付けた。続きが気になるのか、夕食もそこそこ自宅に戻る。何かに夢中になるのは悪いことじゃないけれど、食卓での家族の会話は減ってしまっただけだ。

最近の悩みは娘の「宿題やった詐欺」。動画は宿題の後という約束なのに、欲望に負けてうそをつく。登校前に慌ててノートを開くことが増えた。遅刻しそうになつて「車を送って」とせがまれることもあり、あきれってしまう。

でも強く叱ることもできない。夜勤がある医療職。コロナ禍以降は特に忙しい。会社員の夫も帰宅は遅く、日中はおぼあちゃんに預けることが多い。娘に構ってあげていない罪悪感がある。それにアニメは子どもたちの共通言語。「あれ見た?」から会話が始まり「推

し(応援するキャラクター)」「トックで盛り上がる。乗り遅れられない事情もあるのだろう。

「今は動画が生活の全て。禁止すれば『日常』を取り上げられたと思ってしまうね」。女性の横で、娘は「そんなことしたらもう口聞かない」とむくれた。

依存症に詳しい  
「こころの健康クリニック可部」

(広島市安佐北区)の  
倉田健一院長

## 視聴ルール決めよう

機能が備わったことで、これまでは能動的に「見る判断」をしていたのが、「見ない判断」をしないといけないくなり、自制心がより求められるようになりました。

飲酒やゲームなどあらゆる依存の背景には「生きづらさ」があるケースが多い。人間関係の悩みや不安、人生に目標がない焦りから逃れるために、のめり込むことがあります。コロナ禍でリアルな喜びが少なくなり、動画の中のファンタジーで心を満たそうとする人が増えているのかもしれない。

生活に支障がないなら構いませんが、特に子どもの場合には「寝る時間、起きる時間が遅くなる」という兆候があると要注意です。ネットを遮断すると暴れます。ネットを遮断すると暴れます。ネットを遮断すると暴れます。

例えば、配信サービスの利用を始める前に1日に視聴する時間を決め、「勉強してから見る」「寝室に持ち込まない」などの約束事を設ける。子どもだけに守らせるのではなく、親がネット利用の見本となるよう心掛けます。スマートフォンやパソコンから一定期間離れる「デジタルデトックス(解毒)」を意識的に行うことも大切です。